

# I 宮城県の国際化施策

## (3) アメリカ合衆国デラウェア州との交流実績

平成24年3月末現在

平成2年 (1990)	6	デラウェア州からの交流の意向が外務省を通じて県に伝えられる。
平成3年 (1991)	2	デラウェア州開発局長が来県し、交流の進め方を協議する。
	7	宮城県交流調査団(団長:総務部長)をデラウェア州に派遣。
	10	デラウェア州下院議長、開発局等が来県。デラウェア州セミナー、県内調査等を実施。
平成4年 (1992)	11	宮城県訪問団をデラウェア州に派遣し、宮城県副知事・県議会副議長とデラウェア州副知事・州議会下院議長が交流計画協議書に署名。
	3	デラウェア州開発局事業開発部長代理が来県し、今後の事業計画を協議。
	5	宮城県議会議員団(団長:県議会議長)がデラウェア州を訪問。
	7	宮城県調査団(団長:総務部理事)をデラウェア州に派遣。
	8	デラウェア州において宮城県紹介展を開催。 宮城県議会議員研修団8名がデラウェア州を訪問。
平成6年 (1994)	4	デラウェア州開発局政策企画部長が来県し、今後の事業計画を協議。
	11	宮城県交流協議団をデラウェア州に派遣し、宮城県総務部長とデラウェア州開発局長が交流事業合意書に署名。
平成7年 (1995)	6	海外交流ネットワーク人材養成事業を創設。デラウェア州政府職員及びデラウェア大学学生が本県を訪問し、行政研修、文化研修等を実施。
平成8年 (1996)	5	デラウェア州内の美術関係者が全日本こけしコンクール(白石市)に作品を出品。
	6	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア州政府職員及びデラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	8	ウィメンズ・ルポルターージュ事業による女性訪問団がデラウェア州を訪問。
平成9年 (1997)	1	デラウェア州開発経済局長等が来県し、交流事業を協議。
	3	宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
	5	宮城県議会議員研修団4名がデラウェア州を訪問。
	5	宮城県知事がデラウェア州を訪問。近い将来の姉妹提携に向けて努力する旨の覚書に署名。
	6	宮城県議会において「アメリカ合衆国デラウェア州との姉妹提携に関する決議」
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア州政府職員及びデラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	7	デラウェア州が国際ゆめ交流博覧会へ出展(～9月)。
	7	宮城・デラウェア教育交流計画により、デラウェア州高校生が本県を訪問。
	9	宮城県女性海外研修団がデラウェア州を訪問し、州内にホームステイ。
9	デラウェア州訪問団(団長:デラウェア州知事)が来県。両県知事が姉妹県州締結に関する議定書に署名。	
平成10年 (1998)	1	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県職員及び本県大学生がデラウェア州を訪問。職員は州政府の実務研修に、大学生はデラウェア大学冬学期の留学研修に参加。
	3	宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
	5	宮城県交流計画協議団をデラウェア州に派遣。宮城県総務部長とデラウェア州経済開発局長が交流事業合意書に署名。
	6	デラウェア州・デラウェア大学のNPO関係者が来県し、NPOの組織・運営に関するセミナーに参加。
	7	宮城・デラウェア教育交流計画により、デラウェア州高校生が本県を訪問。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア州政府職員及びデラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県職員及び本県大学生がデラウェア州を訪問。職員は州政府の実務研修に、大学生はデラウェア大学夏学期の留学研修に参加。
	9	宮城県民間訪問団がデラウェア州を訪問し、NPO関係研修、交流会、ホームステイ等を実施。
	9	デラウェア州訪問団(団長:デラウェア州知事)が来県。県内企業視察、米国事情説明会を実施。
	10	経済交流視察団(団長:副知事)をデラウェア州に派遣。
平成11年 (1999)	3	宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
	4	デラウェア州訪問団が来県。交流事業協議、NPOワークショップを実施。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問し、デラウェア大学夏学期の留学研修に参加。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	7	宮城・デラウェア教育交流計画により、デラウェア州高校生が本県を訪問。
10	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県職員がデラウェア州を訪問し、州政府の実務研修に参加。	
平成12年 (2000)	1	デラウェア州協議団が来県。平成12年度以降における交流事業協議を実施。
	2	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア州政府職員が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	3	宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
	5	デラウェア州芸術分野交流協議団が来県。両県州間の芸術分野の交流事業について協議を実施。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問。デラウェア大学夏学期の留学研修に参加。

## I 宮城県の国際化施策

平成12年 (2000)	7	宮城・デラウェア教育交流計画により、デラウェア州高校生が本県を訪問。
	10	宮城県交流計画協議団をデラウェア州に派遣。宮城県環境生活部次長とデラウェア州経済開発局長が交流事業合意書に署名。
平成13年 (2001)	3	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県職員がデラウェア州を訪問し、州政府の実務研修に参加。
	3	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア州政府職員が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	3	宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	7	宮城・デラウェア教育交流計画により、デラウェア州高校生が本県を訪問(この年より対象がデラウェア州内の全学区に拡大/前年まではレイクフォレスト学区のみに対象が限定されていた)。
	9	海外交流ネットワーク人材養成事業により本県職員がデラウェア州を訪問し、州政府の実務研修に参加。
	9	同時多発テロの発生 ・宮城県知事よりデラウェア州知事への見舞いメッセージを送付 ・国際交流課長よりデラウェア州政府経済開発局国際課長及び同人事務局人材育成・能力開発課長への見舞いメッセージを送付 ・宮城・デラウェア教育交流計画による高校生の相互派遣事業(H14.3派遣/H14.7受入)の取りやめ
平成14年 (2002)	3	海外交流ネットワーク人材養成事業によりデラウェア州政府職員が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	5	ウェスリー大学教授が来県し、白石市のこけしコンクールに出展。
	5	デラウェア大学日本語・日本文学学科准教授が来県。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問し、デラウェア大学夏学期の留学研修に参加。
平成15年 (2003)	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	1	宮城県環境生活部長とデラウェア州経済開発局長が交流事業合意書に署名。
	1	デラウェア州経済開発局国際課長が来県。交流協議を実施。
平成16年 (2004)	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問。デラウェア大学夏学期への留学研修に参加。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	1	本県岩沼市とデラウェア州ドーバー市が、ドーバー市において姉妹都市提携を締結。
	3	宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問し、デラウェア大学夏学期の留学研修に参加。
平成17年 (2005)	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	7	JETプログラムにより、デラウェア州出身者が5名配置される。
	8	宮城県角田高等学校長がデラウェア州を訪問。角田高等学校とドーバー高校との姉妹校を締結。
	11	デラウェア州ドーバー市長、ウェスリー大学及びウィルミントン大学関係者が来県。岩沼市、角田高等学校、県内大学、企業、NPO団体等を訪問。
	1	宮城県環境生活部長とデラウェア州経済開発局長が交流事業合意書(対象期間:2年間→無期限化)に署名。
	2	NPO派遣モデル事業を創設し、1団体をデラウェア州に派遣。
	3	宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
	6	宮城・デラウェア教育交流計画により、デラウェア州高校生が本県を訪問。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問。デラウェア大学夏学期の留学研修に参加。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	平成18年 (2006)	7
7		JETプログラムによるデラウェア州出身者が5名配置となる。
7		デラウェア州ステイト・フェアに県内文化団体が参加。
9		本県大学生がデラウェア州を訪問し、研究調査のためデラウェア大学を視察。
10		「みやぎまるごとフェスティバル2006」開催時、県庁内に国際交流コーナーを出展。
12		「みやぎ国際協力のつどい in 白石」に国際交流コーナーを出展。
1		「みやぎ・デラウェア友好交流展」を県庁において実施。
2		宮城県交流協議団をデラウェア州に派遣し、平成18年度以降における交流協議を実施。
2		NPO派遣モデル事業により、1団体をデラウェア州に派遣。
3		宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
6		宮城・デラウェア教育交流計画により、デラウェア州高校生が本県を訪問。
7		海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問。デラウェア大学夏学期の留学研修に参加。
平成19年 (2007)	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	7	JETプログラムによるデラウェア州出身者が5名配置となる。
	7	デラウェア州ステイト・フェアに県内文化団体が参加。
	9	本県大学生がデラウェア州を訪問し、研究調査のためデラウェア大学を視察。
	10	「みやぎまるごとフェスティバル2006」開催時、県庁内に国際交流コーナーを出展。
平成19年 (2007)	1	宮城県交流協議団をデラウェア州に派遣し、平成19年度以降における交流協議を実施。
	3	宮城・デラウェア教育交流計画により、本県高校生がデラウェア州を訪問。
	4	宮城県米国訪問団を派遣し、姉妹交流10周年記念行事のためデラウェア州を訪問。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問。デラウェア大学夏学期の留学研修に参加。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。

## I 宮城県の国際化施策

平成19年 (2007)	10	海外自治体幹部交流協力セミナー2007により、海外自治体幹部が本県を訪問(デラウェア州から2名参加)し、企業等視察を実施。
平成20年 (2008)	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、本県大学生がデラウェア州を訪問。デラウェア大学夏学期の留学研修に参加。
	7	海外交流ネットワーク人材養成事業により、デラウェア大学学生が本県を訪問。行政研修、文化研修等を実施。
	9	海外自治体幹部交流協力セミナー2008により、海外自治体幹部が本県を訪問し(デラウェア州から2名参加)、企業等プレゼンテーション・視察等を実施。
	12	経済交流協議担当者がデラウェア州を訪問し、経済交流協議を実施。
平成21年 (2009)	3	経済交流協議担当者がデラウェア州を訪問し、経済交流協議を実施。
	11	宮城県デラウェア訪問団を派遣し、交流協議を実施するとともに、経済商工観光部長とデラウェア州州務局長が経済交流を柱とする交流合意書に署名。 村井知事親書により、州知事に対し次年度の本県招聘と議定書の改定を打診、快諾を得る。 クリーンエネルギー分野での交流について、デラウェア大学の協力を確認。
	11	デラウェア州で開催されたりホボス・ビーチ映画祭において、本県ゆかりの映画監督の作品上映や、本県産品等の展示を実施。
平成22年 (2010)		(県として具体的交流なし)
平成23年 (2011)	2	経済交流協議担当者がデラウェア州を訪問し、経済交流協議を実施。宮城の醸造品の販路開拓事業「Delicious Healthy Miyagi」開催(酒造企業2社同行)。
	4	デラウェア州知事夫妻等の呼びかけによる宮城県支援イベント開催。同州ホームページによる宮城県支援金募集。
	10	海外自治体幹部交流協力セミナー2011により海外自治体幹部が本県を訪問(デラウェア州から1名参加)。
	10	デラウェア州訪問団(団長:州務局長)が来県。大震災に係る見舞金贈呈、被災地訪問。